

# - 特集 - 人権を考える Part 2



～今年度はこんな人権教育に取り組みました～

長門市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、地域に密着したきめ細かい人権教育・人権啓発活動を推進しています。

## 第1回長門市人権教育セミナー

■とき 7月31日(日)

■ところ 長門市中央公民館

■参加者 約150人

年間3回を予定しているセミナーの一回目は、昨年度に引き続き重点課題として取り組んでいる「罪や非行を犯した人の人権」を考えていただく機会として、作家の門田隆将さんを講師としてお招きし、「光市母子殺害事件と『加害者・被害者』の人権」という演題でお話をさせていただきました。

光市という身近で起きた事件が、裁判員制度や少年法の改正に大きく影響していたことは、ニュースや新聞報道からでは知ることのできない内容でした。また、被害者や加害者の、時間の経過に伴う心の変化についてもくわしくお話をうかがうこと



門田隆将さんによる講演の様子

ができ、今後私たちが、人権について考えていく上で、大変貴重なお話であったと思います。

罪や非行といったものは決して許されるものではありません。しかし、その罪を償い、社会の一員として立ち直ろうとする更生の気持ちや道しるべを作っていくことは大切なことです。しかしながら、地域社会においては、誤った認識や偏見が存在し、更生への妨げや人権が損なわれている恐れがまだまだ残っています。こういった現状を変えていくには、家庭や学校、職場、地域社会など周囲の人々の正しい理解と協力が大切で

### 《参加者の感想》

・加害者、被害者、両方の人権について日頃考えていなかった深いところまで考えることができました。光市母子殺害事件が抱えている意味の大きさがよくわかった。人権とは、平穩に暮らす家族の人権を守ることである。光市の事件には大変関心があり見守り続けてきた一人ですが、たいへんよくわかるように話してくださり、たいへんよかったです。

・加害者、被害者双方と実際に接してこられた方の一言一言は、とても重みがありました。人間とは、

強さ弱さ、美しさ、みにくさの両方を持っているものだと改めて感じ、またそれでも、社会の一員として人とつながり、自分を見つめて生きていくことの大切さを思いました。

## 第2回長門市人権教育セミナー

■とき 8月22日(月)

■ところ 三隅公民館

■参加者 31人

気軽にケータイやインターネットを使うことが日常化した中、それが常に人権侵害と隣り合わせにあることを忘れていないか、本当に豊かなコミュニケーションとはどういうものかを考えていただく機会として、ビデオ「あの空の向こうに」を視聴した後、小グループに分かれてのワークショップを行いました。

従来の話し手と聞き手の関係で学ぶ研修会ではなく、参加者がお互いに見え出し合い、相互に作用しあう中で人権にかかわる課題について学び取っていくとする、主体的な学習が展開されました。

### 《参加者の感想》

・とかく人とのつながり、かわり合いは厄介でうっとうしい面があります。しかし、今日のワークショップ

プのように話してみると、気づかなかった一人ひとりの人柄や思いに触れ、かわりあうことの心地よさと信頼感を感じることが

できます。

・ワークショップ型の研修はとても有意義であった。また、様々な立場の人と意見交換ができてよかった。

・講義形式ではなく、ワークショップはとても面白かった。ワークショップのようなセミナーもいいと思いました。

## 長門市人権フェスティバル

■とき 11月3日(木・祝)

■ところ ラポールゆや

■参加者 約300人

山口人権啓発活動地域ネットワーク協議会から、「人権の花運動」協力校へ感謝状の贈呈と、秋人権擁護委員協議会から全国中学生人権作文コンテスト秋地区大会入賞者へ表彰状の授与が行われ、長門市立菱海中学校の大嶧志帆さんが「身近にある偏見」の作文披露を行いました。

引き続き、大津緑洋高等学校吹奏楽部によるミニコンサートで、「シンフォニック・プレリウド」・「AKB48メドレー」が演奏されました。

講演会では、岡山県立岡山盲学校講師の竹内昌彦先生に「私の歩んだ道」を見えないから見えたもの」と題して講演いただきました。目が見えないという障害を背負いながら、学び努力されてこられた竹内先生の実体験に基づいたお話から、健常者として生まれてきた私たちが、今までは違った角度で人生を見つめなおしていくきっかけとなる大変すばらしいお話を聞かせていただきました。

### 《参加者の感想》

・竹内さんの講演に、笑いと涙でいっぱいでしたが、人間として生きていくための大切なことをたくさん学ばせていただきました。

・子ども1人に、3人の命があるという言葉にグッときました。こういう講義は初めてだったんですがいいですね。

・大津緑洋高の演奏は、とてもよかったです。迫力がありアンコールしたかった。

## 第3回長門市人権教育セミナー

■ところ 日置地区あたたかい

■とき 12月4日(日)

■ところ 日置農村環境改善センター



第3回長門市人権教育セミナー会場

■参加者 約150人

長門市青少年育成市民会議日置支部から「フォトコンテスト」入賞者6名へ表彰状の授与が行われました。

引き続き、日置地区小・中学校・高等学校の児童・生徒による意見発表が行われました。

講演会では、岡山学芸館高等学校参与の森美智子先生に「共に育ちたい」今、家庭に必要なものは、と題して講演いただきました。

岡山学芸館高等学校での生徒との交流の様子や、「岡山いのちの電話」相談員としての体験談など、ハキハキとした関西弁でお話いただきました。

現代社会の激しい変化の中で、青少年を取り巻く環境は、大きく変化してきており、昔からいわれている礼儀やしつけが、古くさいものではなく、今だからこそ重要であり、家庭で教え伝えなければならぬとお話されました。親子の関係、家族の大切さを改めて考えさせられる貴重な時間になりました。

### 《参加者の感想》

・家庭教育の子育て講座として期待して参加しましたが、それをほかに上回る人間教育講座でした。素晴らしい内容で感銘を受けました。

・家庭教育が低下している今、改めて大切であることを感じさせていただきました。はっきりとした口調が「母にしっかりしなさい」と言われているようで、涙が出ました。

来年度は、「子ども」に関する問題を扱った人権教育に取り組んでいく予定としております。ご意見、ご要望がございましたら、生涯学習スポーツ振興課までお願いします。

### ■問い合わせ

教育委員会生涯学習スポーツ振興課生涯学習係 TEL 23・1259